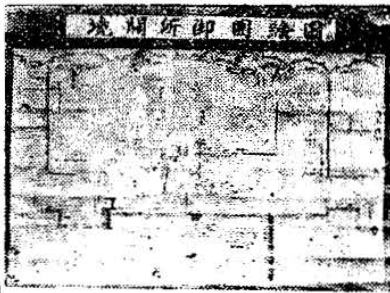


郷土の史蹟名勝を訪ねて

寫眞説明

左上……境支所前の石碑
左下……関所の囲絵図
右下……関所通過の手形



境の關所

気笛一声、境川の鐵橋を北陸線上旅客列車は多数回往復し、境川に架け渡された永久橋を、バスがロマンスカーが幾往復かする今は昔、加賀百萬石の領内を出て國外に旅する者は、町奉行又は郡奉行より与えられた関所通過の手形を所持し関守りの許しを得て旅をしなければならなかった。越中と越後の境を劃するところに境川が流れて日本海に注ぎ、此の川の左岸に軒を並べて境村があつた。此の境村の中央部、今は朝日町境支所と境小学校、境中学校が国道かつての北陸通をはさんで建並ぶところに境の關所があつた。

七年の昔、慶長三年始めて境に關を設け、時恰も境村に寓居した尾張の浪士(異説もある)長谷川惣左衛門をして関守を命じた。知行百石を扶持せられて初代境關所の奉行を命ぜられた長谷川惣左衛門より四十二代奉行、茨木源五右衛門が明治二年二月二十八日、境關所の廢止に依つて



第3號
編集兼發行人
朝日町役場内
九里道守
印刷所 高田印刷所

臨時御宿泊なる宿舎として建てられていたものである。關所の廢止と共に國番所も藩番所も一切の建築物が取りこわれ、今日小学校の域内に苑池の一部と背後の御亭山に藩亭の礎石を遺すのみ。境の町、朝日町境は然しながら今日も尚、境の町ではある。



第一回 朝日町社会教育大會盛大裡に開催

朝日町社会教育全般の振興發展を企図して、十一月十三日(日)午前十時より、泊中学講堂に於て開催、県教委本社会教育課長高木主事及下新川教育事務所中野課長、堀田主事を迎えて、先づ朝日町中央公民館長大平教育長の挨拶に続いて金森朝日町長、清水朝日町議會議長の祝辭が述べられた。

- 次に各公民館、社会教育団体の実態発表に移った。
- (1)宮崎公民館の概況
 - (2)朝日町連合婦人会の啓み
 - (3)われわれの歩み
 - (4)大家庄公民館の歩み
 - (5)朝日町体育協会の現状と希望



第一回社会教育大会 泊中学講堂

◎レクリエーション
佐藤妙子舞踊教室の洋舞踊「花と蝶々」他の演技が行われ、聴衆の肩のこりをほぐすに充分であつた

(6)泊公民館運営審議委員会の運営
委員長 在田芳芳

(7)朝日町連合青年団の実体
朝日町連合青年団長 西島友行

(8)冠婚葬祭の簡素化について
笹川公民館長 竹内益太郎

(9)中央公民館の役割
中央公民館主事 大菅達二

ついで発表者が全員登壇一般参加者との間に熱心なる質疑応答があつて、

本社会教育課長の講演を聞いた終つて坂東教育委員長の挨拶、大平教育長の閉会の辭があつて、午後四時、第一回の大会としては成功裡にその幕を閉じた。

質疑応答中特に取り上げられて論議された問題は、新生活運動についてであつて、婦人団体の言い分では婦人団体が如何に新生活運動を推進

しても、親爺教育をてつていしなればその効果が半らないと云うのであつた。又公民館活動に於ても、最もつかみにくいのは親爺であつて、共々に親爺教育の必要性が強く打ち出されて、当面する社会教育運動には逃してならない対象として、親爺が取りあげられたことは、ひとり本大会のみならず、此の種の会合によく話題に上ることではある、町の親爺等も此の叫びに耳を傾くべきではなからうか。又新生活運動の展開は単に婦人団体や公民館等個々に行うのではなくして広く横の連結を密にして行くことが運動の効果をよりよ

いものにして呉れるのではなかつたか、と云つた活発な議論が聞陳された。

連合青年団の実態発表の冒頭、議員四十名中一人として顔を見せない今日の大会に意義を何処に見出すのかと喰い下る一さまもあつた。

町政日誌

八	月	町議会商工水産委員会
二五	日	町議会議員全体協議会
二七	日	臨時町議会
三〇	日	宮崎文所廃所式
三二	日	月
九	日	自然博物館監査(行政管理 庁監察部より)
九	日	町議会建設委員会
一〇	日	財政監査(県地方課より)
一三	日	南保小学校増築落成式
一五	日	共同募金委員会
二二	日	町議会農林、建設、総務委 員会
二六	日	定例町議会、文厚委員会
二八	日	月
一〇	日	境、宮崎、赤川、草野の海 岸に高波襲来 消防団出動
九	日	南保地区町内会長会議
一〇	日	境地区町内会長会議
一一	日	町内会商工水産委員会
一二	日	野中地区町内会長会議
一四	日	山崎地区町内会長会議
一六	日	朝日町災害救助隊編成
一八	日	大家庄地区町内会長会議
二〇	日	厚生寮事務監査(県社会福 社課より)
二二	日	町議会農林委員会
二四	日	町議会文厚委員会
二六	日	朝日町消防団操法大会
二七	日	五箇庄地区町内会町会議
三二	日	宮崎地区町内会町会議
三三	日	町議会文厚、建設委員会
一	月	泊地区町内会長会議
二	日	失業対策事業監査(県より)
三	日	朝日町体育大会
四	日	町議会建設委員会管内道路 視察
五	日	自然博物館建築入札
六	日	朝日町マラソン大会
一〇	日	町議会総務委員会管内消防 施設視察

町議会議員の再選挙執行について

朝日町南保選挙区において町議会議員名欠員となつたので、
今回次によりこれが再選挙を行うこととなつた

選挙の期日(投票を行う日)

昭和三十年十一月三十日

選挙すべき議員

菅人

選挙期日の告示

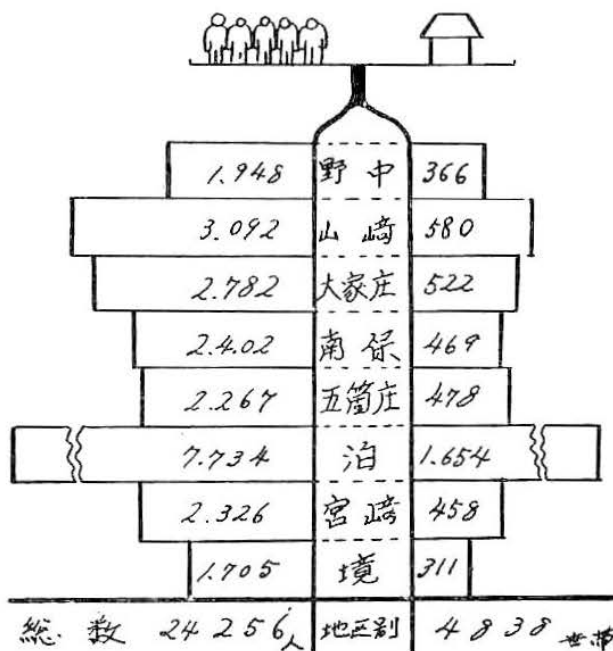
昭和三十年十一月十八日

國勢調査結果ままとまる

去る十月一日現在で
行われた國勢調査も、
調査員の熱心な御盡力
と町民各位の御協力
御協力によりまして好
成績に終り、この程次
のよう概数が纏つた
朝日町の人口
二四、二五六
世帯数 四、八三八

地区別人口及び世帯数

(一セ帯当り5人平均)



昭和30年度
保育所開設状況

朝日町各地区で

農繁期の猫の手も欲しい季節に、
各地区婦人会の手で開設されている
季節保育所の状況は左の通りである
(連合婦人会実態発表資料)

農業委員会委員選挙人名簿の調製について

農業委員会等に関する法律第十条
の規定により毎年十二月一日現在で
農業委員会委員選挙人名簿を次によ
り調製いたします

調製期日 十二月一日
調製期限 一月十五日
縦覧期間 一月二十日から二月三

日までの十五日間
異議の申立期間 縦覧期間中
異議の決定期間 異議の申立を受
けた日から二十日以内

確定期日 三月五日
選挙権、被選挙権を有する者
1市町村の区域内に住所を有する

者で年令二十年以上のもの
2一反歩以上の農地につき耕作の
業を営むもの
3前号の者の同居の親族又はその
配偶者で年令六十日以上農耕に
従事するもの

◎選挙資格者は十二月五日まで申請
書を農業委員会に提出する。
◎農業委員会は十二月二十五日まで
当該申請書に記載された事項につ
き意見を附し選挙管理委員会に送
付しなければならない

常設保育所の季節状況

施設名	平均人員	開設期間
大家庄	50	210
金山	50	210
境	35	50
宮崎	80	60
笹川	95	60
南保越	40	60
南保高畠	44	100
施設名	平均人員	開設期間
月山	45	90
草野	45	70
蛭谷	45	160
羽入	38	60
殿町	42	60
辻	38	30
山崎新	30	60
施設名	平均人員	開設期間
山崎	48	30
山崎越	30	30
境中東	32	60
野中西	30	60
計	817	1,460

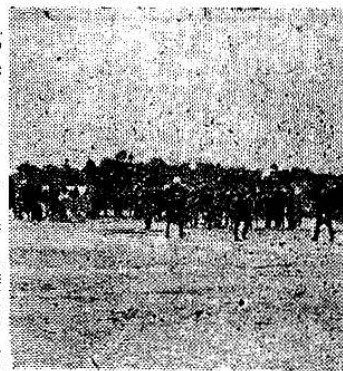
昭和三十年年度季節保育所開設状況



婦人参政権ポスター

所名	保育
泊	第一
泊	第二
桜町	赤川
計	

朝日地区畜産
(産業課)
共進会開催される



第四回朝日地区産業連合会の見
町の参加を得て十一月九日に小川中
学校に於いて開催した。

当日は早朝から冷雨が降りしきり
山添えにみぞれがあつて櫻育山も白
く化粧したが、後晴間を見せた程度
の悪天候にもかかわらず予想外に盛
会で審査の結果、次の家畜が入賞し
た。

米作
朝日一は
住吉啓二さん

朝日町では、地区農業改良普及員の協力を得て、米作朝日一多收穫競争会を開催し先般來審査中の所、此の度左記の通りの成績を見、一等は

氏名	品種名	坪当り 株数	坪当り玄米收量 重量一容量	反当玄米 收量
一等 住吉啓二	こしほなみ	七六 株	六四五一六二	四八四 石
二等 百石正一	こしほなみ	八三	六〇一一五〇〇	四五〇 石
三等 高田一六	農林三二号	六四	五八四一四六〇	四三八 石
山本半治	しろがね	五二	五八三一四五七	四三七 石
沢田行一	こしほなみ	七〇	五八三一四五七	四二七 石
荒尾隆一	しろがね	四九	五八一四五三	四三六 石

計	繩羊	山羊	豚	馬	肉牛	和牛	乳牛	區別
一一一	一四	一二	一一	一七	一五	三一	一一	出場予 定頭數
七八	八	六	九	一三	九	一七	一六	出場 頭數
七	舟見 金山 アヤ	笹川 長井 清治	大山庄 高田 一六	山崎 谷口梅次郎	大家庄 藤田 清一	大家庄 藤田 新作	大家庄 藤井 武	一 等
九	舟見 大家 松枝	山崎 森岡 義賢	山崎 安達 義雄	野中 川瀬仙之助	五ヶ庄 吉井 敬信	大家庄 石井 徳代 大家庄 稲垣 宗吉	山崎 稻荷栄太郎 大家庄 坂口 健治	二 等
一七	野中 森田 慶久	大家庄 岡田 信義	山崎 水野 清治	五ヶ庄 西田健太郎 大家庄 高島政治 野中 沢本啓三	泊 寺崎 盛 大家庄 由井源次郎	山崎 常石 秀雄 野中 折谷 健造 野中 江如江之助 南保 道用 幸平	大家庄 金井伊三松 沢田 彌三 小川 行一	三 等

農林産物展示会と
木炭品評会の開催

朝日町農林産物の品種改良、栽培技術及品質向上を図る一端として、十一月五日六日の両日小川中学校に於て、管内農林産物の展示及木炭品評会を同校の学園祭に併せて開催したが、各人腕自慢の農林産物多量出品展示の外、各メーカーに依る農薬、防除器具、肥料等の陳列も有り盛大の裡に終了した。尚木炭品評会に於ける入賞者次の通り

特員	北山由次郎	根建森義
壹等	長井宗五郎	谷口清次
貳等	青島加次	長崎久
參等	長崎常吉	

農業改良について

本年は皆々様の努力に依り一大豊作となりました事は、誠に嬉しいこととであります。

今から来年度の準備となりますが、今年の様な日照の多い年でも倒伏した田圃が見受けられました、これはその土壌を良く認識して居ないからです、今の間に早く土壌を調査して適品種を植付け、施肥量をあやまらぬ品種を調査していますが、地区別に計画されていますが、農家の皆様も自分の田ですから進んで調べましよう。

適品種の準備、米の多収は良い品種で適地栽培です。品種について皆様も一番関心が深い様ですが、一度試作してから栽培されるのが大抵です。米作日本一は、本年も富山県からしかも魚津市から出そうです。品種は金南風です、当地方では十月十五日頃の刈取りですから考へものです。朝日町でお奨め出来る品種は大体次の様です。

早生	藤坂五号	越路早生
	農林一號	新六号
中生	万代早生	中新二〇三号
	しろがね	やちこがね
	山陰四二〇号	黒部一號

晩生　こしほなみ

品種の特性について充分研究の上
が肝要です。

玉忽、菜種、甘藍の定植は成るべく
十日に行い、ましよう。

種子馬鈴薯の準備、一家二貫匁位

詳細については、地区農業改良

役員に御相談下さい。

11

1

100

うわ!! テツカイ
小川中学校の

朝日町が全国に誇り得るものの一として、小川中学校の産業教育がある地域に即した「有畜農業」の研究が同校の最も自慢とする処であるが



家畜を飼うには何としても自給飼料の増産を第一にしなければならぬ。この点から考えて甘藷の利用が大切だという立場から、過去数年にわたってサツマイモのいろいろの試験を行つてゐる。

写真は今 year 行つた一株栽培のお化け
いもだ、一株に大きいいもがゴロゴ
ロと十四貫も着いて居て先徒を大喜
びさせた。

同校では一昨年のイモは之より一貫匁も多かつたので記録を上げる事が出来なかつたと、係の生徒を残念がらせているが、何してタツタ一坪の畑で然も一本の苗で、十四貫も成つたのだから凄い。

此の試験は甘藷を多収する為の最高の技術は何か、といふ問題を解決しようとしたものである。苦心のいるのは苗作りで、今年は六月二十一日にやつと思う苗が出来、原肥として生草が十五貫、木灰が一貫、勿れ大きい苗を水平植へにして、八月二十一日に追肥を行ったもの、品連

は護國を選んだが、明年からはもつと能率の高い岐阜十一号や白千貫を使つて更に多收をしようと計画されている。



農林産物展示会

朝日連青

連青排球大会

於 大家庄

今年体育の最後を飾る連青のバレーボール大会は、来る、十一月二十三日、大家庄小学校校庭で行なはれる。今年は、昨年に比し各校下共体育向上の意味あから、バレーボールに主力を注いでいるため、昨年の覇者、男子大家庄校下団、女子泊校下団ともその予断を許さない。

尚、雨天の場合は、十一月二十七日（午前九時より）に延期される。

十二月初旬 連青機關紙 發刊

各校下共に

青年學級を開催

昨年に引き続き、各校下では、小学校乃至は公民館に、各講師を招き、それぞれ本年度の、青年學級を、開講した。開講中の校下団は、次の通り

消防署便り

十月一日、台風二十二号で新湊市は一〇〇億円の損害を出してしまつた。風速二十メートル以上の強風下では完全な耐火構造以外は如何に火魔の前に無力であるかと云うことは私等の常識以上のものである。

今年六月迄の全国火災損害額は一二〇億円で、一〇〇億円の損害額は半年の半分に近い額となる。又今年六月迄の全国火災件数は戦後最高を記録した。昨年同期よりも更に一〇〇件も上回つて居る。一度悪気象下に出火するならばこれを大火に進展させないだけの消防力を保持する市町村はほんの一部の大都市だけであつて大部分の市町村は物心両面に於てその消防力の整備強化に努めなければ悪条件下に於ては常に大火危険にさらされている訳である。従つて火災件数が多くなると云うことは、それだけ大火危険を増大する

ものであるから火の恐しくなるこれからは火の取扱いには十二分の注意が必要であり、火の使用設備の点検改修を急がねばならない。

これは火事になりそう、そんな危い火を焚いては火事になるぞ、そんなところに火を置いては困るぞ、と云つて誰が見ても火事になりそう、な危いものからは火事にならない。何故？ それは既に火に対する注意力が働いて居り、気をつけるだろうし、消すだろうから。火事になるのは、あんなもの大丈夫だろう、今迄何年も、幾日も同じことをやつて、火事にならなかつたのだからと云つたものからである。そんなもの程放つて置くから留守の場合のコタツや火を多く焚いた後の煙突等はこれから特に多い火災の原因となる。

「燃えない工夫、焼かない注意」をスローガンに十一月二十六日から一週間、全国的に秋の火災予防週間が実施される。週間中及週間前後を通じて消防器具、団員による各戸査

大家庄校下団
野中
山崎
尚、宮崎校下団の女子部は、生花、お茶の講習会を、週、一回づつ開いている。

新生活運動推進に 女子の集い

十二月四日

来る十二月四日、連青婦人会と共に午前九時より泊高校講堂に富山県青協副会長、山口女史、郡連合婦人會長水野スナ女史を招き、新生活運動推進の、主旨に基いて座談会を開催、多数の参加を希望している。



10月24日挙行之朝日町秋季消防演習

「町民の聲」欄募集

- 一、町政全般に亘り町民各位の批判希望等
- 二、原稿用紙（十二行二十字詰）式枚以内
- 三、メ切 十二月十五日
- 四、宛先 役場内総務課宛

朝日町 民生委員連 舟見町 合同研修会開く

十一月十六日午前九時三十分より

朝日町議場に於て、県社会福祉課長、県中央児童相談所長、下新川社会福祉事務所長、下新川社会福祉協議會長、その他関係官多数の御臨席を得て、而町民生委員七十有名が参集、野田朝日町民生委員連合會長の会々の辞に米沢社会福祉協議會長高島朝日町助役の挨拶あり金子社会福祉事務所長外関係係官多数の現下諸情勢下の民生委員の責務の強調と、社会福祉問題全般についての熱辨を賜り一堂は一層社会福祉の増進に努力する決意を新めた。次いで野田會長の發議で伊東率氏を座長に推挙し。各地区代表の体験談發表に移り境地区民生常務委員渡辺秋男氏の、再婚の道を選んだ末亡人世帯の取扱について、五ヶ庄地区民生委員南茂正子女史の暴飲暴食の夫を民生委員の説得と妻の夫に対する深い愛情により人間本来の姿に戻らせた体験談、泊地区民生委員中野啓三郎氏より親子夫婦の折合の悪いのを仲裁に努力した一例を野中民生委員、山本正治氏より病弱の引揚者に住宅、及び職業を斡旋した苦心談を、舟見町民生常務委員朝倉典章氏より身体障害者の職業輔導家族に職業斡旋して更生させた一例に、山崎地区民生委員山崎禪龍氏は観音教に盲信した母子世帯を更生させた苦心の一端を、南保民生委員米丘仁太氏より後妻と先妻の子との折合を伸とつた一例、大家庄大久保委員より不品行と不貞の婦女子を改心させた経験談。宮崎民生常務委員野田隆俊氏より引揚者に職業輔導斡旋して見事更生させた体験談を。各々を發表し参集者に感銘を与へ

次いて質款応答に入り各委員より活発なる質款あり有意義裡の内に金子福祉事務所長の激功の辞を裁き藤条朝日町民生課長の閉会の辞あつて四時散會した。

泊公民館の文化祭

十一月五日から始つた泊公民館主催の多彩な文化祭行事も十五日をもつて終了した。特に演劇公演では泊青年団の「暗い灯の下に」、泊演劇研究会の「三年寝太郎」、あすなろ座の「鬼太鼓」は三者競演の形となつて青年の白熱的演技が展開され町民に深い感激を与へたようである。



村島西一画伯の個展も単彩にボク色を生かした風景画は瀟灑な画伯の芸術を示したもので地方では見られない豪華版であつた。

舟川栄次郎氏の詩情を生かした大平山濤氏二人展は従来のわれわれの書道の觀念をすっかり打破したものであつて、書道の芸術性を端的に説明してもらへたと思ふ。これらの展覧会には遠く魚津、黒部市あたりから参観しにきた人も多かつた。

選手の出場がどうであらうかと心配された県下高校選学生弁論大会も、全県下高校選手十八名の出場をみて盛會裡に終了した。高岡、富山の高校選は優位に入賞した。地元泊高校定時制の平柳明美さんが入賞された。

第二回 朝日町体育大会

11月3日 於 小丸山公園グランド

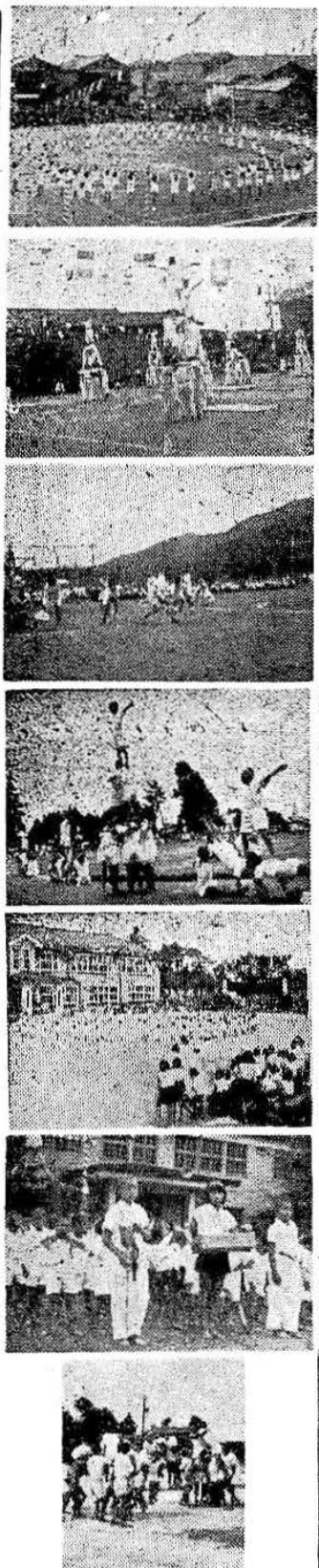
十一月三日、文化の日、恒例の、第二回朝日町体育大会が、はれ上るとも保証づけられない天候の中を、大会長の挨拶ではないが、挙行でなく、強行された。コンデションはトラックもフィールドも共に悪い中を各選手は地区の榮譽にかけて、懸命の力走であつた。中にはすべり止めのわらじばきの選手も出て来る仕末。時に通り過ぎる俄雨に立錐の余地もない観らん席にはコーモリやかさの花がバツト咲き競う情景や、応援団の奇異をこらした応援ぶりも、馬りの山にこだましてなかくの盛況ぶりであつた。役員諸君は雨の中、吹きすさぶ寒風にもめげず、進行に審判に一条乱れぬ運営ぶりには衷心敬意を表し度い。

第 2 回朝日町体育大会

得 点 表

(1955. 11. 3) 於 公園グランド

	宮崎	笹川	泊一区	泊二区	泊三区	五ヶ庄	南保	大家庄	山崎	野中
重量運動	7	1	3		4	5		2		6
小 学 校 走	7	2			3		4	5	6	1
中 学 校 走	7		1	3	6	5	2		4	
高等学校										
900米	5	3	4		6	1		2	7	
青障	4	5	2		3	6	7	1		
水継	5	4	7	6	2		1		3	
男子三脚	6	5		3		4		7	2	1
女子三脚	7	3	5		1	4	2	6		
年令別女子										
700米	7	4	3		5	6		1	2	
年令別男子										
900米		5	1		3	4	6	7	2	
得点合計	55	31	24	15	21	27	35	8	34	22
順位	1	4	6	9	8	5	2	10	3	7



写真説明

右上より 町民大会入場式、泊中学、大家庄小、小川中、山崎小、野中小、泊高、左上より 境小、境中、宮崎小、泊小、五ヶ小、笹川小、南保小各運動会

第二回朝日町一周 驛伝マラソン大会

十一月六日、朝来の雨もどうにかはれ上つて、午後一時予定通り、第二回驛伝マラソン大会が決行された。各地区選手はぐづついた悪天候のもとよくスポーツマンシップを発揮して、笹川小学校前のスタートから、役場前のゴール迄、終始敢闘の連続であつた。



マラソン大会

大会の幕は閉された。順位は左の通りである。

順位	地区名	タイム
優勝	大家庄	二時三十三分三九
優次	宮崎	二、二六、四二
三位	境	二、三七、〇一
四位	泊二区	二、二七、47 2
五位	泊一区	二、三二、一二
六位	五ヶ庄	二、三五、〇六
七位	南保	二、三三、四八
八位	山崎	二、三五、二九
九位	野中	二、三六、三四
一〇位	泊三区	一、三六、四四
一位	コース距離約四三.K.M	二、二七、五四

